

〔われはダルケを名乗れるものと〕

宮沢賢治

青空文庫

われはダルケを名乗れるものと
つめたく最後のわかれを交はし

閲覧室の三階より

白き砂をはるかにたどるこゝちにて

その地下室に下り来り

かたみに湯と水とを吞めり

そのとき瓦斯のマントルはやぶれ

焰は葱の華なせば

網膜半ば奪はれて

その洞黒く錯乱せりし

かくてぞわれはその文に

ダルケと名乗る哲人と

永久とはのわかれをなせるなり

青空文庫情報

底本：「新修宮沢賢治全集 第六卷」筑摩書房

1980（昭和55）年2月15日初版第1刷発行

※□付きの表題は、底本編集時におぎなわれたものです。

入力：junk

校正：土屋隆

2011年5月14日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

〔われはダルケを名乗れるものと〕

宮沢賢治

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>